

ユニバーサルデザインに関する意識調査

I アンケートの概要

- (1) 実施期間 平成 28 年 12 月 12 日（月曜日）から 12 月 28 日（水曜日）まで
- (2) 対象者数 1,361 人
- (3) 回答者数 897 人
- (4) 回答率 65.9%

ア 年齢階層別

	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳代以上
回答者数	63 人	189 人	228 人	198 人	174 人	45 人
構成比	7.0%	21.1%	25.4%	22.1%	19.4%	5.0%

イ 地域別

	北勢	中南勢	伊勢志摩	伊賀	東紀州
回答者数	426 人	241 人	115 人	83 人	32 人
構成比	47.5%	26.9%	12.8%	9.3%	3.6%

※北勢地域 四日市市、桑名市、鈴鹿市、亀山市、いなべ市
木曾岬町、東員町、菰野町、朝日町、川越町

※中南勢地域 津市、松阪市、多気町、明和町、大台町

※伊勢志摩地域 伊勢市、鳥羽市、志摩市、玉城町、度会町、大紀町、南伊勢町

※伊賀地域 名張市、伊賀市

※東紀州地域 尾鷲市、熊野市、紀北町、御浜町、紀宝町

Ⅱ アンケート結果

※文章中のパーセント表示については、小数点第1位に四捨五入してあるため、必ずしもそれぞれの和にならないことがあります。

1 「ユニバーサルデザイン」の意味の認知度及び関心について

Q1 「ユニバーサルデザイン」の意味をご存じですか。また、関心はありますか。

ユニバーサルデザインの意味について全体で 71.7%の方が知っているとは回答しています。

年代別に見ると、20 歳代・30 歳代 (77.8%)、40 歳代 (73.7%) と年齢が低くなるほど知っている方が多くなっています。

地域別では、中南勢地域 (76.8%)、伊勢志摩地域 (73.9%)、伊賀地域 (69.9%) が高くなっています。

また、ユニバーサルデザインに関心のある方は、「意味を知っており、関心もある (44.7%)」「意味は知らないが、関心はある (21.0%)」と回答されている方を合わせ、65.7%となっています。

年代別に見ると、70 歳代以上 (80.0%)、60 歳代 (70.7%)、30 歳代 (65.1%) が高くなっています。

地域別では、東紀州地域 (75.0%)、中南勢地域 (66.0%)、北勢地域 (65.9%) が高くなっています。

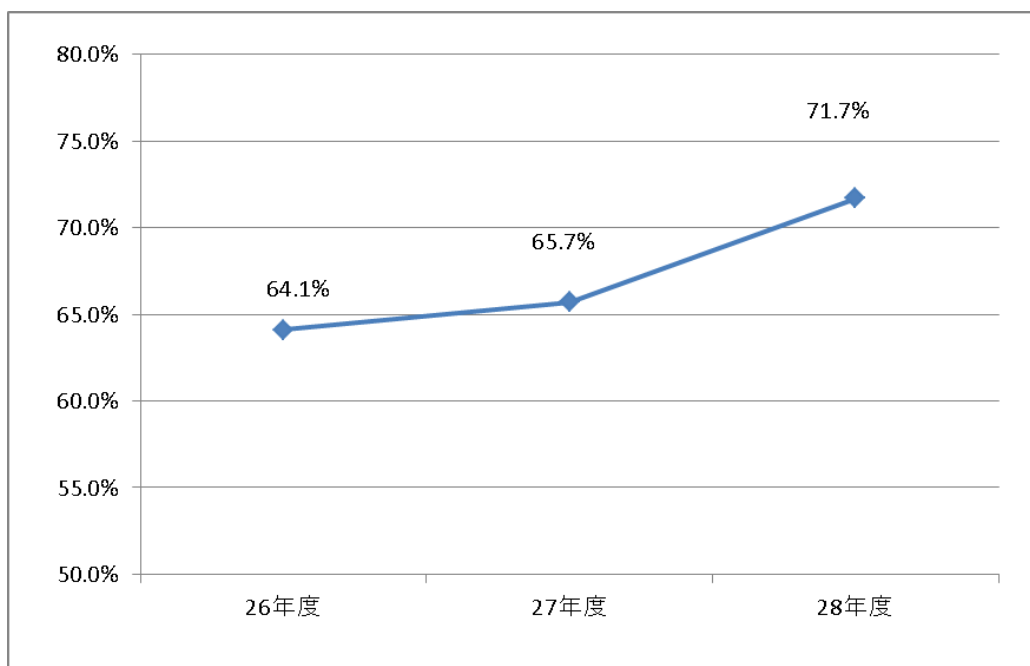


図 「ユニバーサルデザイン」の意味を知っている方の割合
(過去の調査との比較)

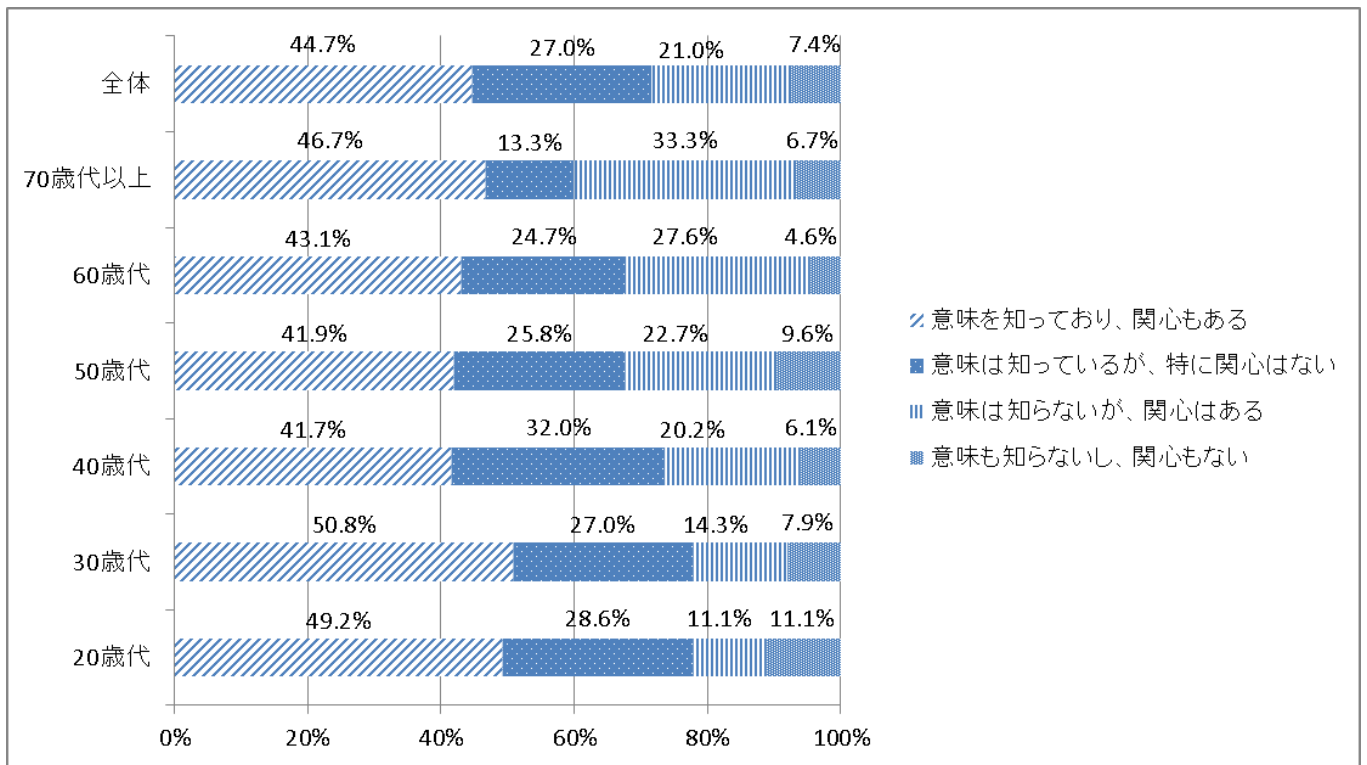


図 ユニバーサルデザインの意味の認知度及び関心（年代別）

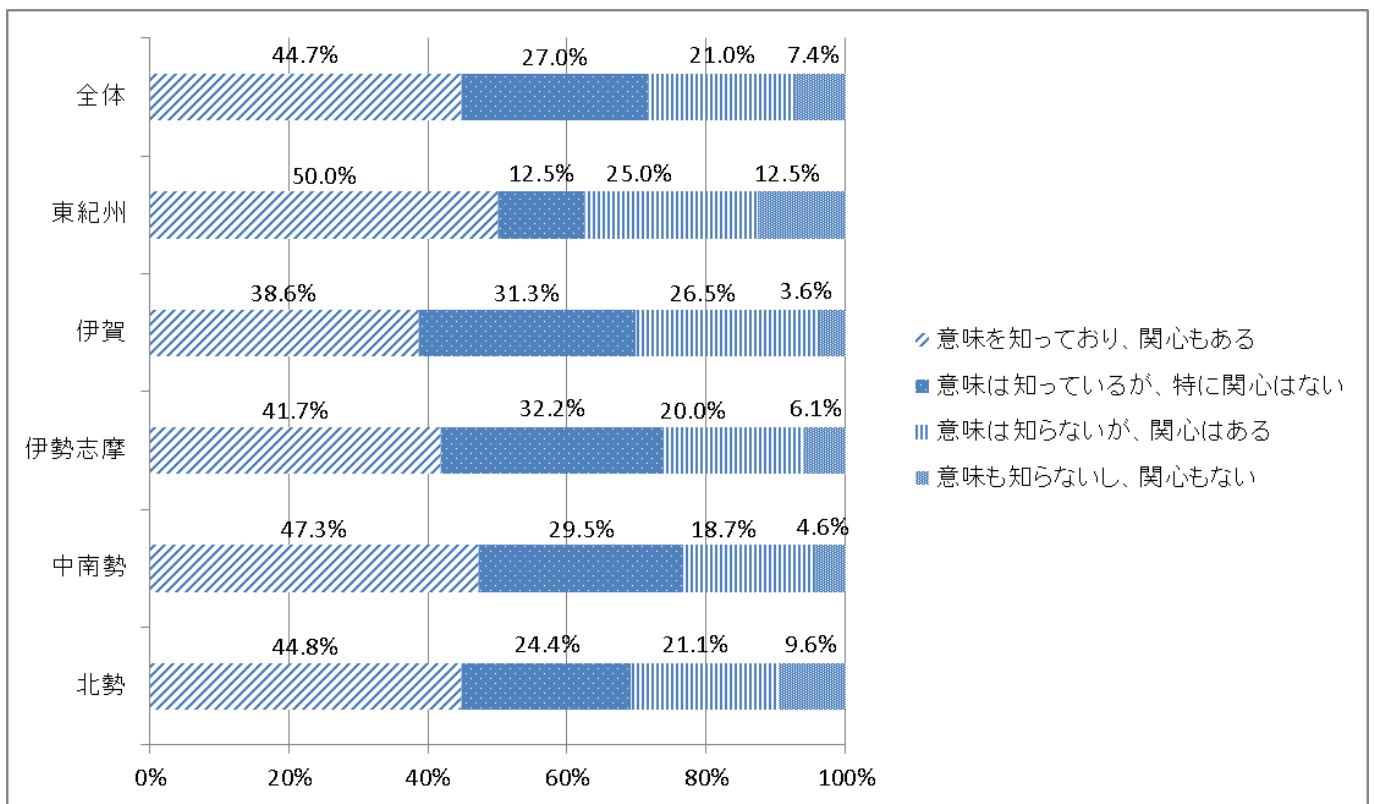


図 ユニバーサルデザインの意味の認知度及び関心（地域別）

2 設備等に関するユニバーサルデザインについて

Q2 官公庁・病院・スーパー・駅舎・歩道など多くの人を利用する施設やバスなどの乗り物についてだれもが使いやすくなっていると感じますか。

多くの人を利用する施設やバスなどの乗り物についてだれもが使いやすくなっていると感じるかという問いに、「そう感じる（9.1%）」「どちらかと言えばそう感じる（57.4%）」と回答した方は、合わせて66.5%となっています。

年代別に見ると、70歳代以上（73.4%）、60歳代（70.6%）、40歳代（68.4%）が高くなっています。

一方、地域別では、中南勢地域（73.8%）、伊勢志摩地域（68.7%）が高くなっており、東紀州地域（46.9%）は低くなっています。

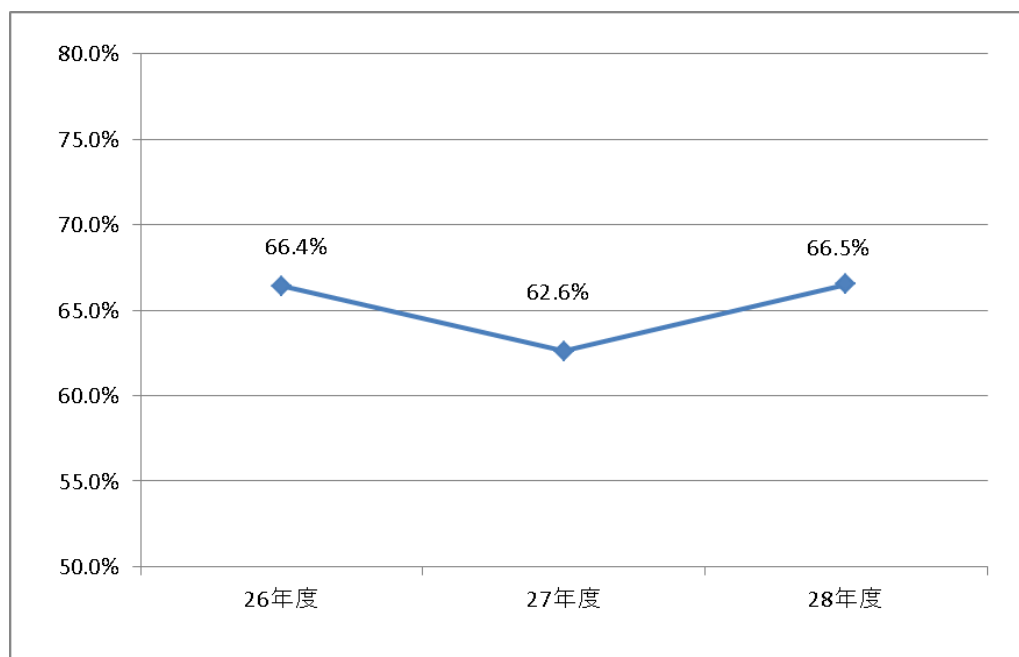


図 多くの人を利用する施設が使いやすくなってきたと感じる方の割合（過去の調査との比較）

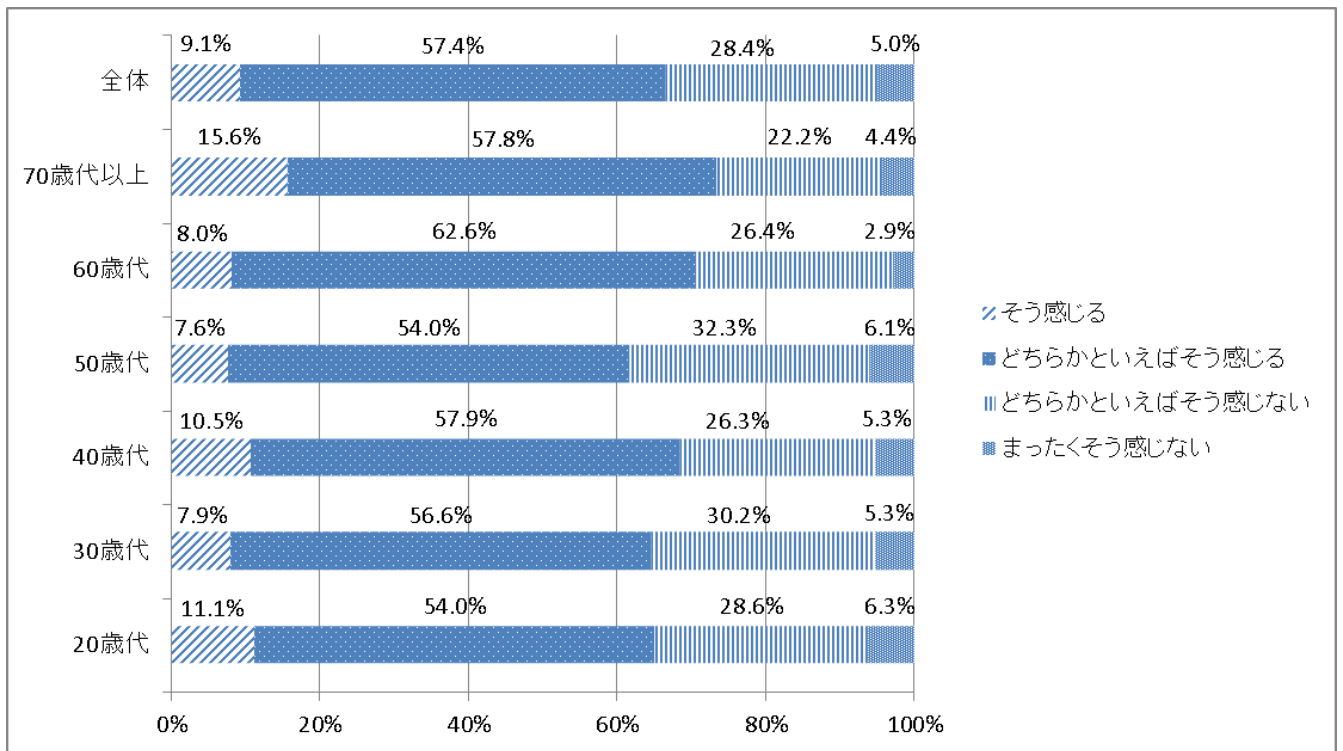


図 設備等のユニバーサルデザインについて（年代別）

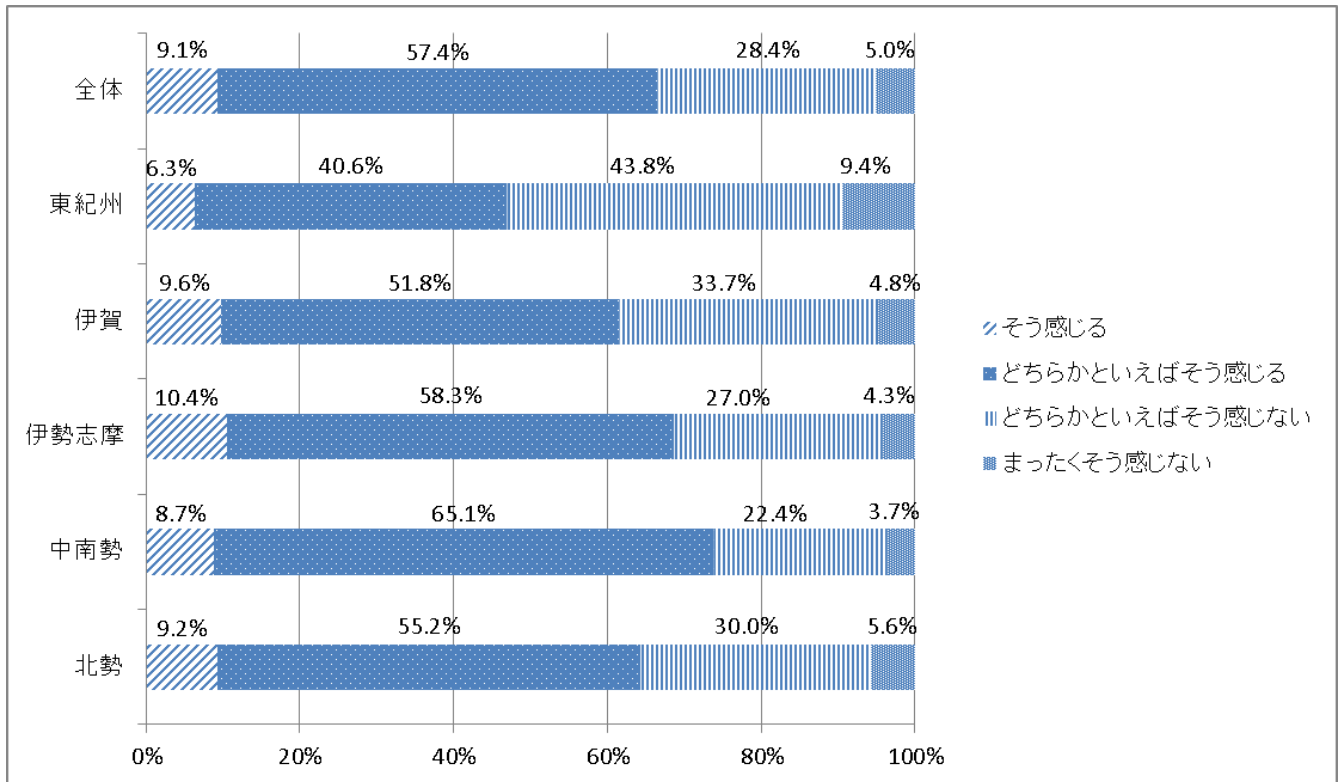


図 設備等のユニバーサルデザインについて（地域別）

3 製品及び情報提供に関するユニバーサルデザインについて

Q3 日常生活で使う製品、社会生活に必要な広報誌やチラシなどの情報提供が、障がい者、高齢者、妊産婦、外国人等さまざまな人の立場に立って配慮されてきていると感じますか。

製品、情報提供がさまざまな人の立場に立って配慮されてきているかという問いに、「そう感じる（4.8%）」「どちらかと言えばそう感じる（46.8%）」と回答した方は、あわせて51.6%となっており、建物や乗り物に関する同様の問いより14.9ポイント低い結果となりました。

年代別に見ると、70歳代以上（57.7%）、60歳代（53.5%）、30歳代（53.4%）が高くなっています。

一方、地域別では、伊勢志摩地域（55.6%）、中南勢地域（53.9%）が高くなっており、東紀州地域（31.2%）は低くなっています。

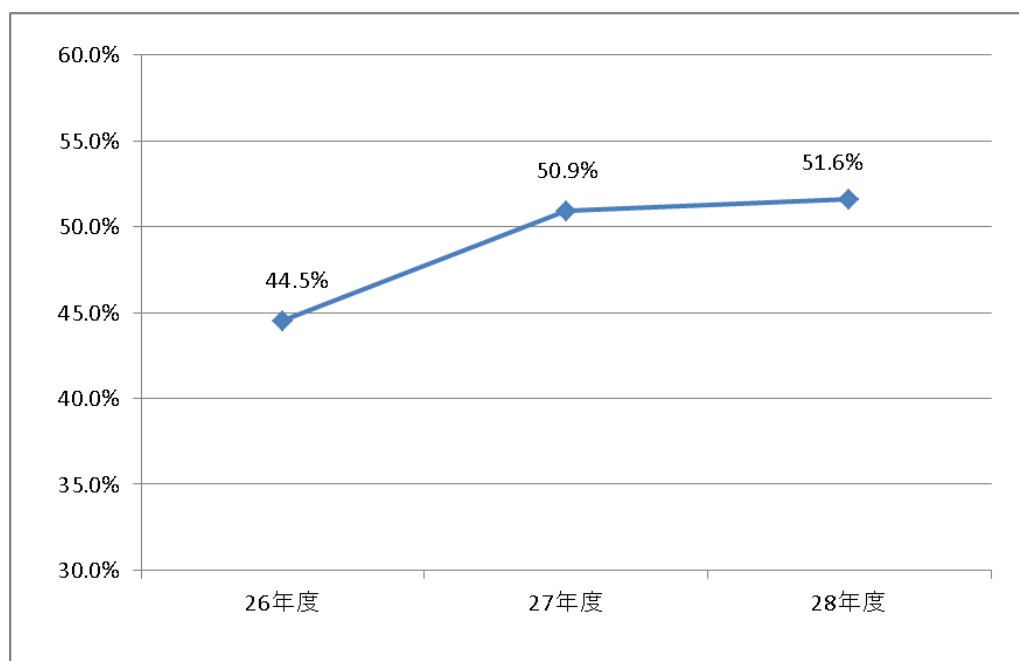


図 製品及び情報提供がさまざまな人の立場に立って配慮されていると感じる方の割合（過去の調査との比較）

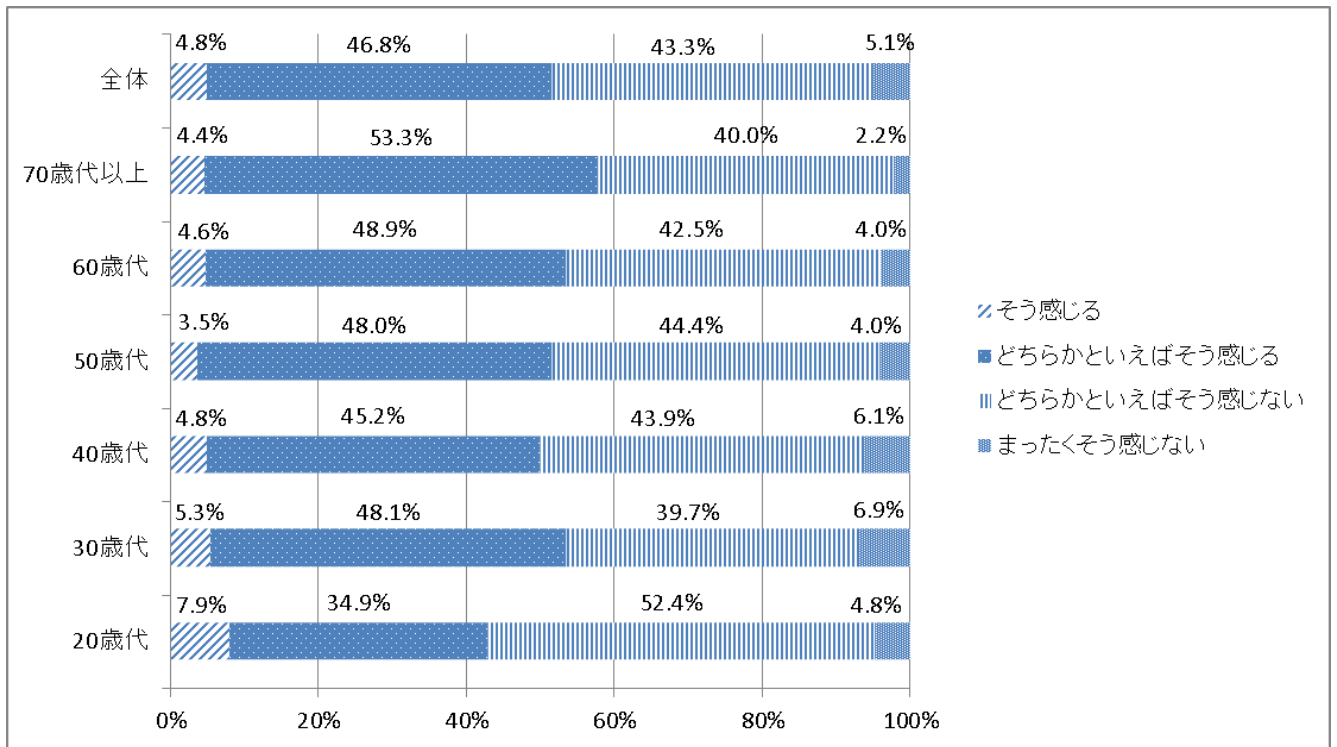


図 製品及び情報提供に関するユニバーサルデザインについて（年代別）

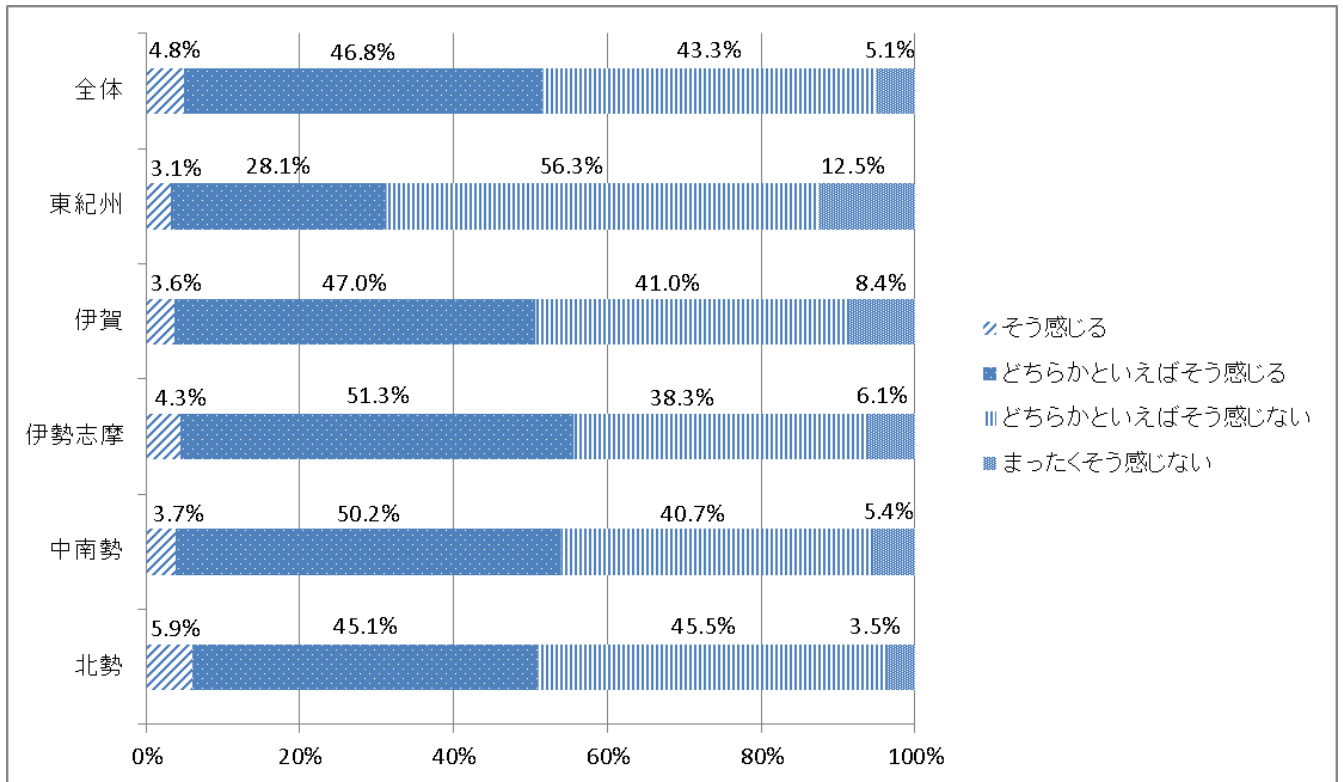


図 製品及び情報提供に関するユニバーサルデザインについて（地域別）

4 サービスの提供に関するユニバーサルデザインについて

Q 4 国、県、市町等の行政サービスや商店、商業施設、宿泊施設等の民間企業等の顧客サービスが、障がい者、高齢者、妊産婦、外国人等さまざまな人の立場に立って提供されていると感じますか。（この設問での「サービス」は、案内表示や窓口サービス（説明）のわかりやすさ、利用手続きの簡素化、その他利用者の要望に応じたサービスをイメージしてください。）

行政サービスや顧客サービスがさまざまな人の立場に立って配慮されてきているかという問いに、「そう感じる（4.0%）」「どちらかと言えばそう感じる（48.4%）」と回答した方は、あわせて52.4%となっており、建物や乗り物に関する同様の問いより14.1ポイント低く、製品や情報提供の同様の問いとの差は小さい結果となりました。

年代別に見ると、20歳代（60.3%）、30歳代（57.1%）、70歳代以上（53.3%）が高くなっています。

一方、地域別では、伊賀地域（57.8%）、伊勢志摩地域（57.3%）が高くなっており、東紀州地域（34.4%）は低くなっています。

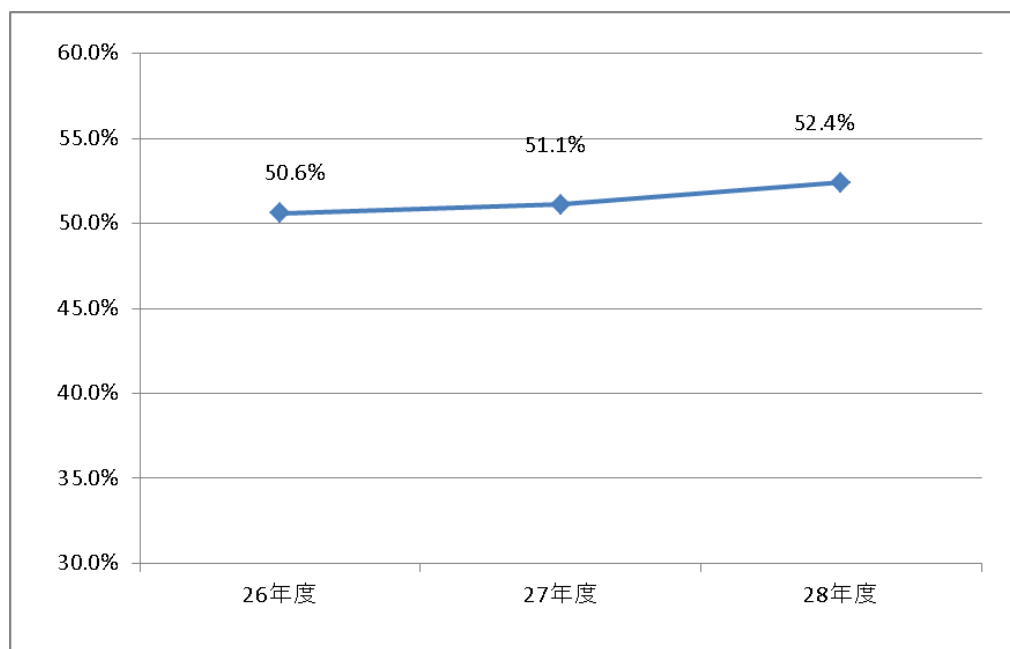


図 行政サービスや顧客サービスがさまざまな人の立場に立って提供されていると感じる方の割合（過去の調査との比較）

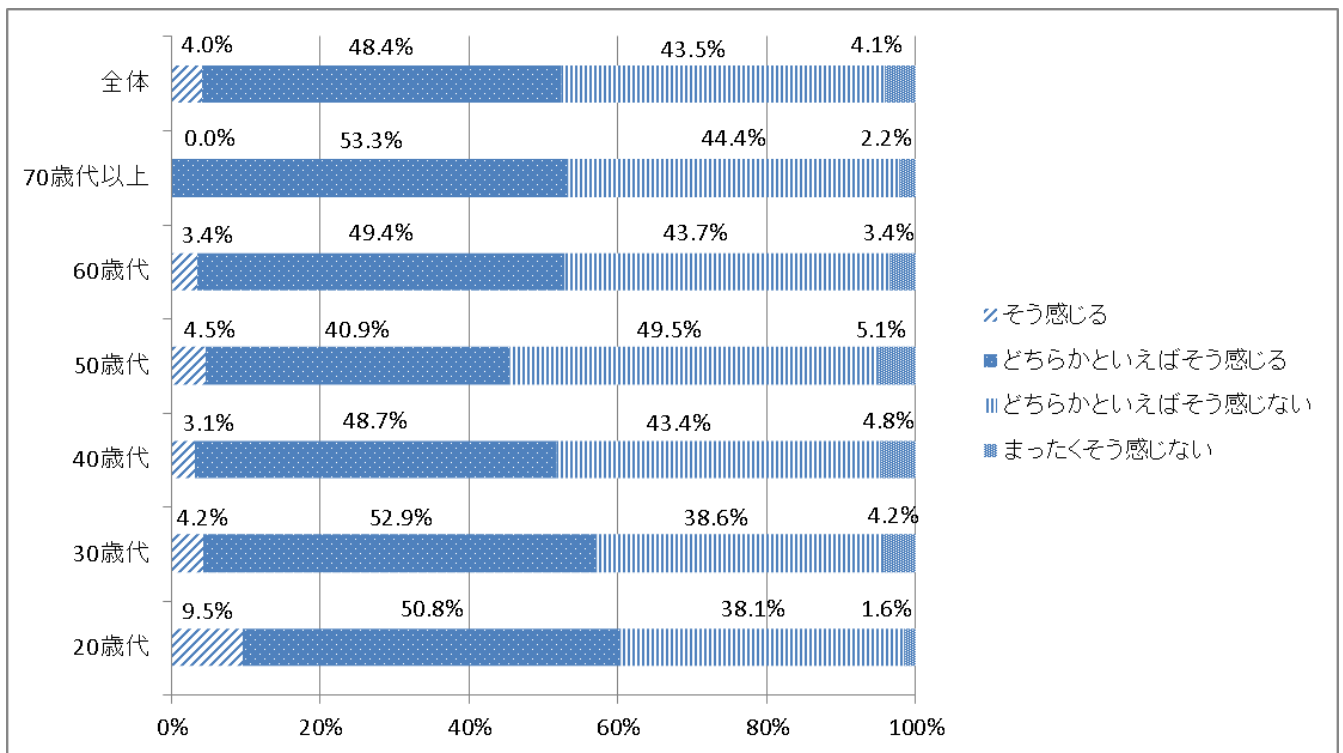


図 サービスの提供に関するユニバーサルデザインについて（年代別）

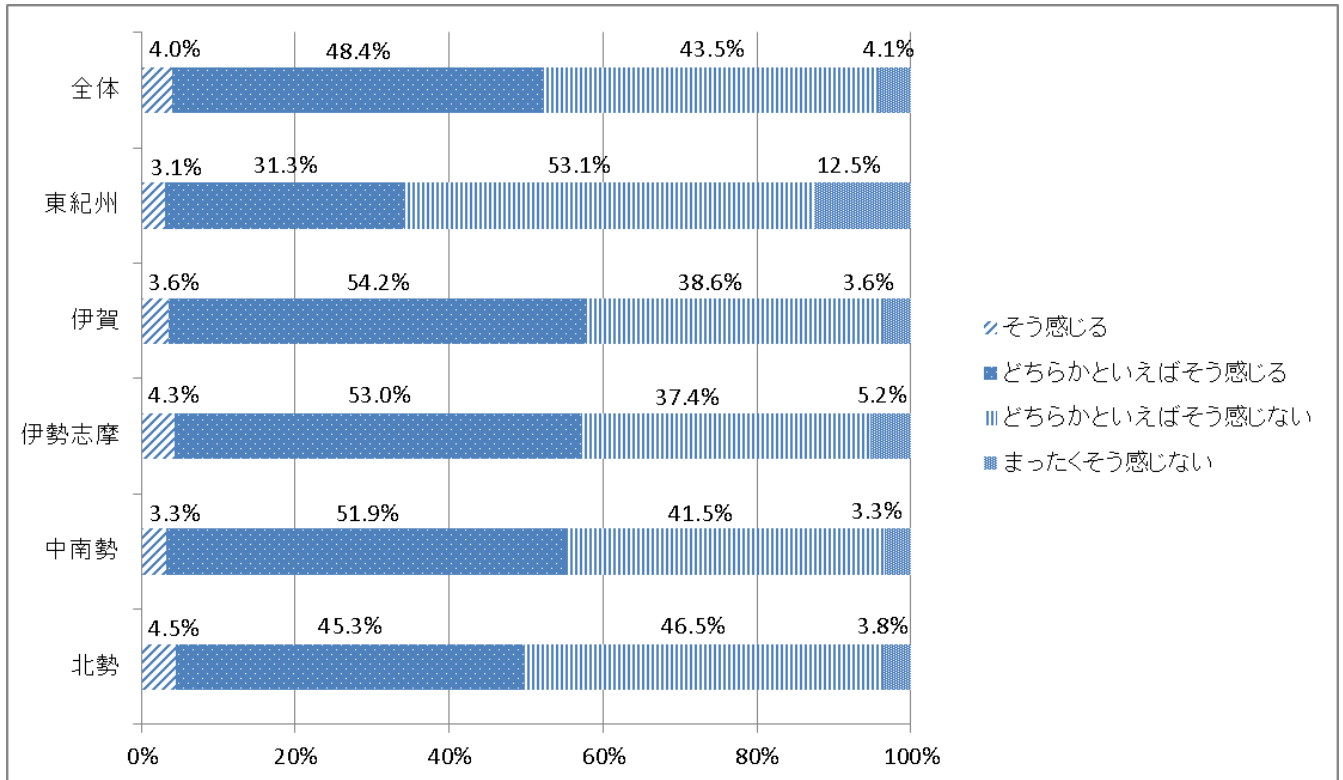


図 サービスの提供に関するユニバーサルデザインについて（地域別）

5 「三重おもいやり駐車場利用証制度」の認知度について

Q5 県では、障がい者や妊産婦、けが人などで、歩行が困難な方の外出を支援するため、公共施設や商業施設などに「おもいやり駐車場」の設置を進めるとともに、その利用証を交付する「三重おもいやり駐車場利用証制度」を実施しています。

[当制度のHPアドレス]

<http://www.pref.mie.lg.jp/UD/HP/73426012526.htm>

あなたは、「三重おもいやり駐車場利用証制度」をご存じでしたか。

「三重おもいやり駐車場利用証制度」について「制度の内容を知っている(37.0%)」「店舗等で見たとあるが、内容は知らない(31.7%)」合わせて、全体で68.7%の方がおもいやり駐車場を知っているか、または見かけたことがあると回答しています。

年代別に見ると、30歳代(71.4%)、70歳代以上(71.1%)、20歳代(69.8%)が高くなっています。

一方、地域別では、中南勢地域(72.6%)、北勢地域(70.9%)が高くなっています。

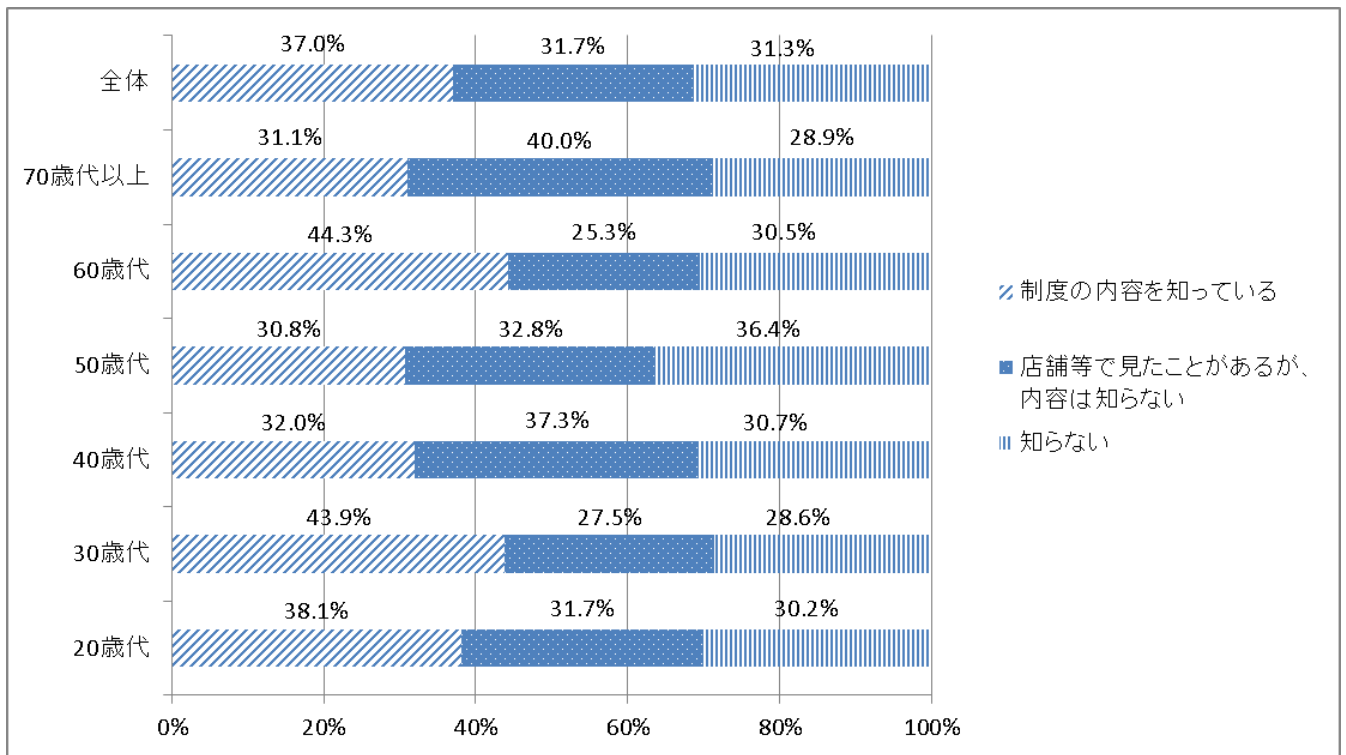


図 「三重おもいやり駐車場利用証制度」の認知度について（年代別）

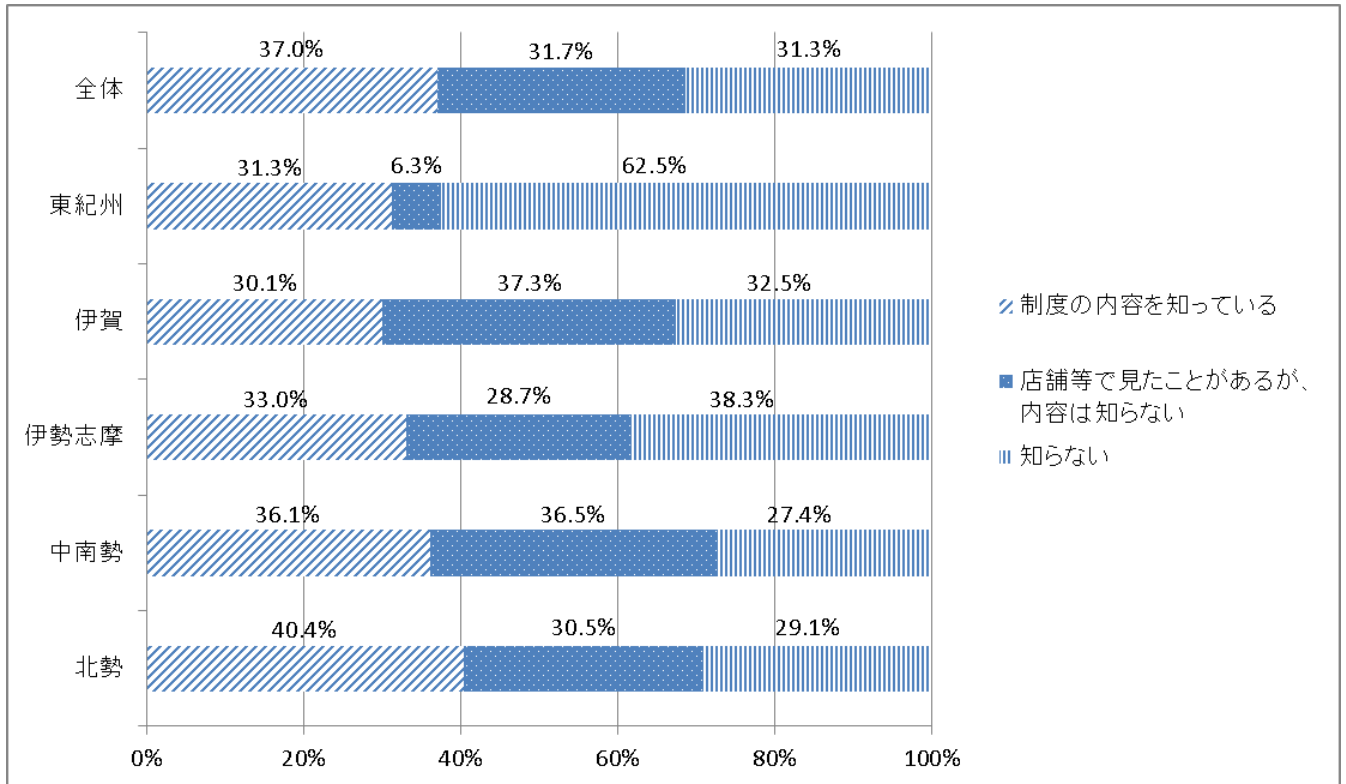


図 「三重おもいやり駐車場利用証制度」の認知度について（地域別）

6 「三重おもいやり駐車場利用証制度」の今後のあり方について

Q6 Q5で「制度の内容を知っている」と答えた方にお聞きします。

あなたはこの「三重おもいやり駐車場利用証制度」の今後のあり方をどのように思いますか。

Q5で「制度の内容を知っている」と答えた方を対象にした、「三重おもいやり駐車場利用証制度」の今後のあり方をどのように思うかの問いに、85.8%の方が「制度を継続すべきである」と回答しています。

年代別に見ると、70歳代以上(100%)、60歳代(89.6%)、50歳代(86.9%)が高くなっていますが、どの年代でも多数の方が継続すべきであると回答しています。

一方、地域別では、東紀州地域(100%)、中南勢地域(87.4%)、伊勢志摩地域(86.8%)が高くなっています。

7 「三重おもいやり駐車場利用証制度」の今後のあり方について2

Q7 Q6でその選択肢を選んだ理由があれば教えてください。

「三重おもいやり駐車場利用証制度」の今後のあり方についてQ6でその選択肢を選んだ理由を自由にお答えいただきました。

その中で、「支援の必要がある人には便利で、外出を促す効果がある」「利用させてもらっており、助かっている」等のご意見を多くの方からいただきました。

一方で、「認知度が低い」「健常者がおもいやり駐車場を使用することを多く見かける」等のご意見をいただきました。

今後も、だれもが利用しやすい駐車場となるよう普及・啓発活動や駐車区画の設置に取り組んでいきます。

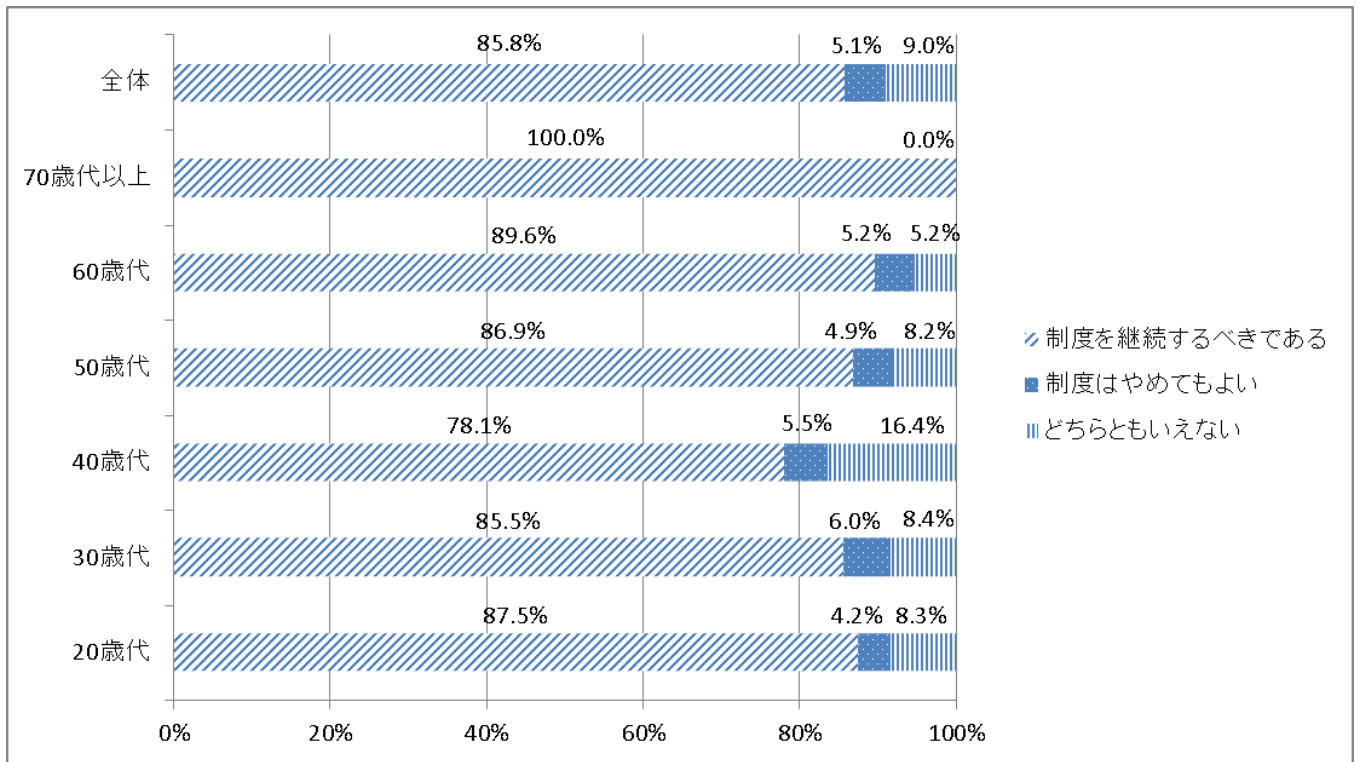


図 「三重おもいやり駐車場制度」の今後のあり方について（年代別）

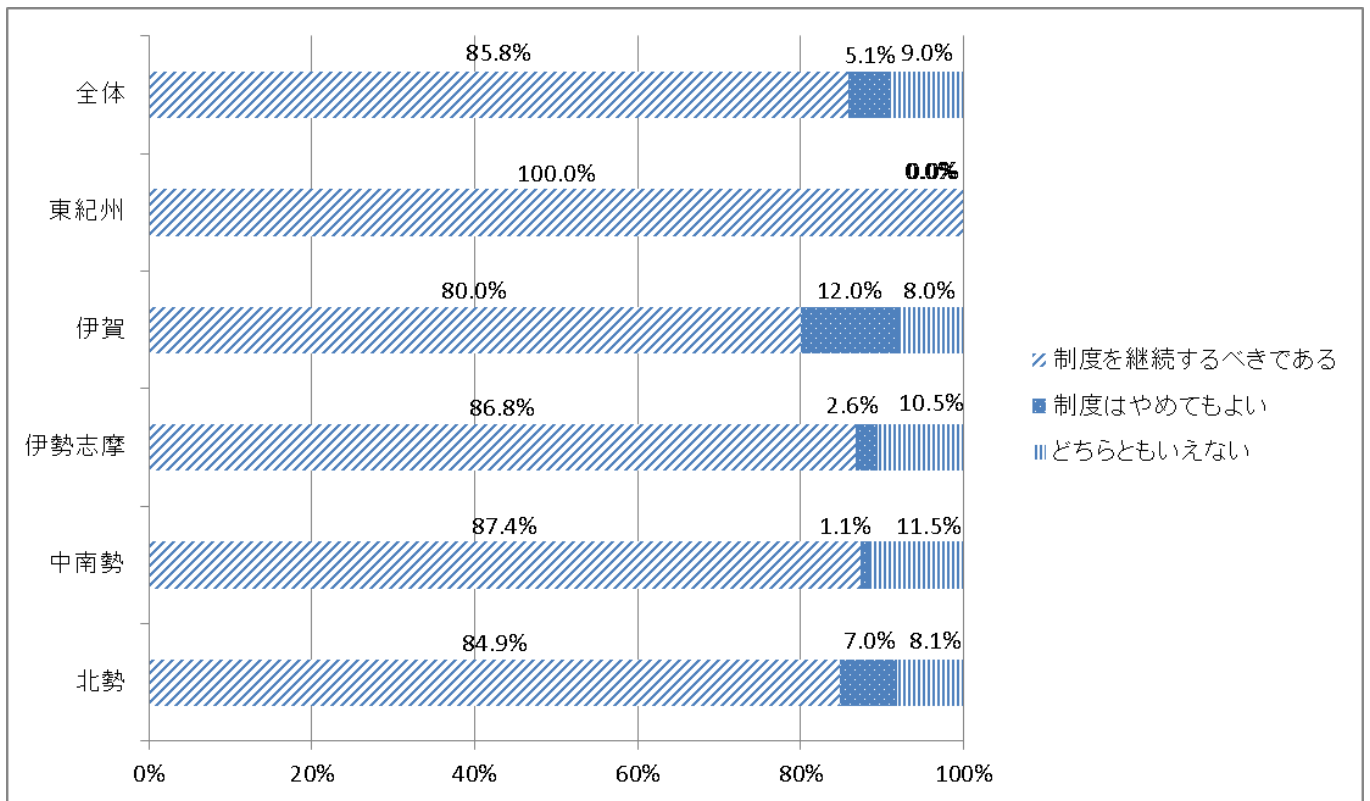


図 「三重おもいやり駐車場制度」の今後のあり方について（地域別）

8 「適合証プレート」の認知度について

Q8 県では、公共的施設の整備に関し、その施設が、障がい者、高齢者等が安全かつ快適に利用するために必要な基準に適合している場合には、整備基準適合証（「適合証プレート」）を交付しています。

[当制度のHPアドレス]

<http://www.pref.mie.lg.jp/UD/HP/20871012597.htm>

あなたは、「適合証プレート」を見たことがあり、その意味を知っていましたか。

整備基準適合証（「適合証プレート」）について、「見たことがあり、示す意味を知っている（16.4%）」「見たことはあるが、示す意味は知らない（14.3%）」を合わせて30.7%の方が見たことがあると回答しています。

また、「見たことがあり、示す意味を知っている（16.4%）」「見たことはないが、示す意味は知っている（14.9%）」を合わせて31.3%の方が示す意味は知っていると回答しています。

見たことがなく、示す意味も知らない方は、54.4%となっています。

年代別に見ると、見たことがある方の割合は、70歳代以上（42.2%）、50歳代（34.4%）、40歳代（30.7%）が高くなっています。

意味を知っている方の割合は、70歳代以上（44.4%）、60歳代（40.8%）、50歳代（34.4%）となり、おおむね年代が高くなるほど、知っている方が多くなっています。

地域別に見ると、見たことがある方の割合は、伊勢志摩地域（40.0%）、中南勢地域（32.4%）が高くなっています。

意味を知っている方の割合は、中南勢地域（34.5%）、北勢地域（32.4%）が高くなっています。

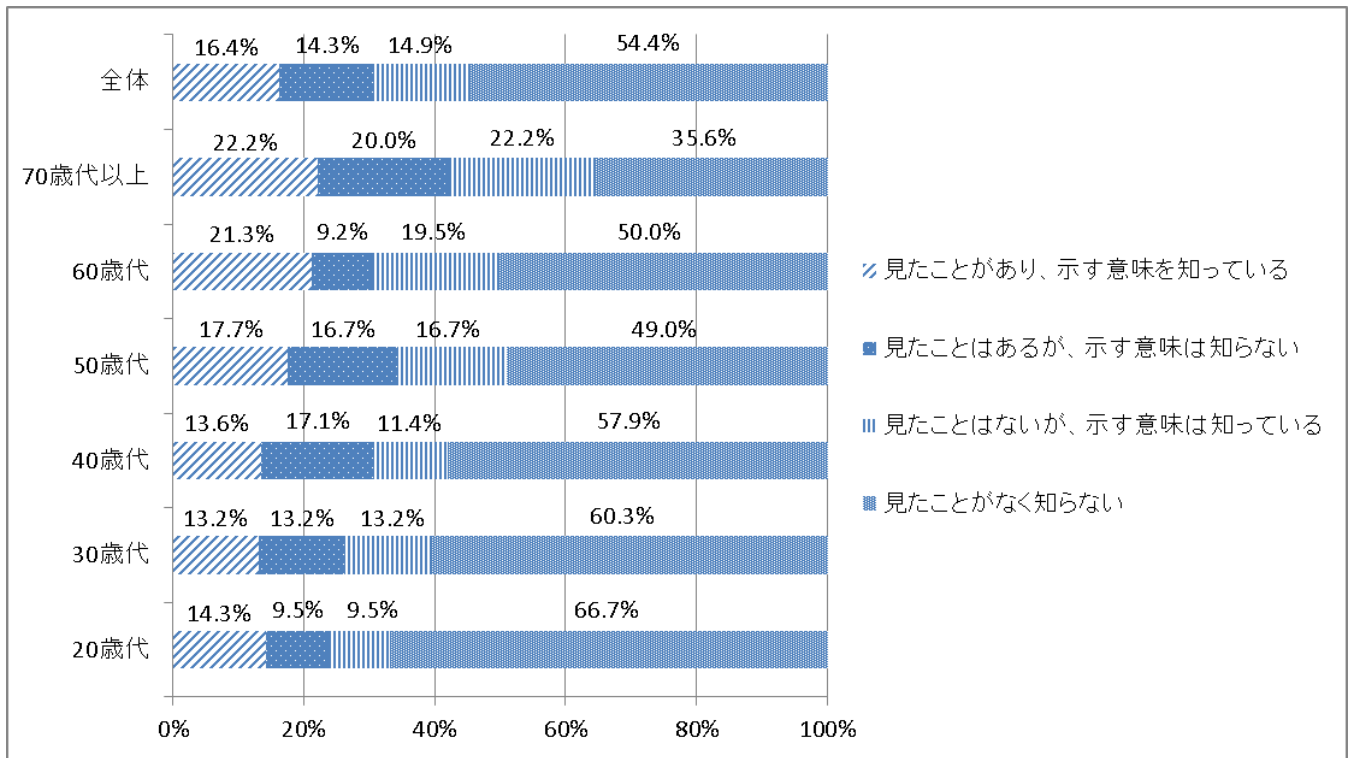


図 「適合証プレート」の認知度について（年代別）

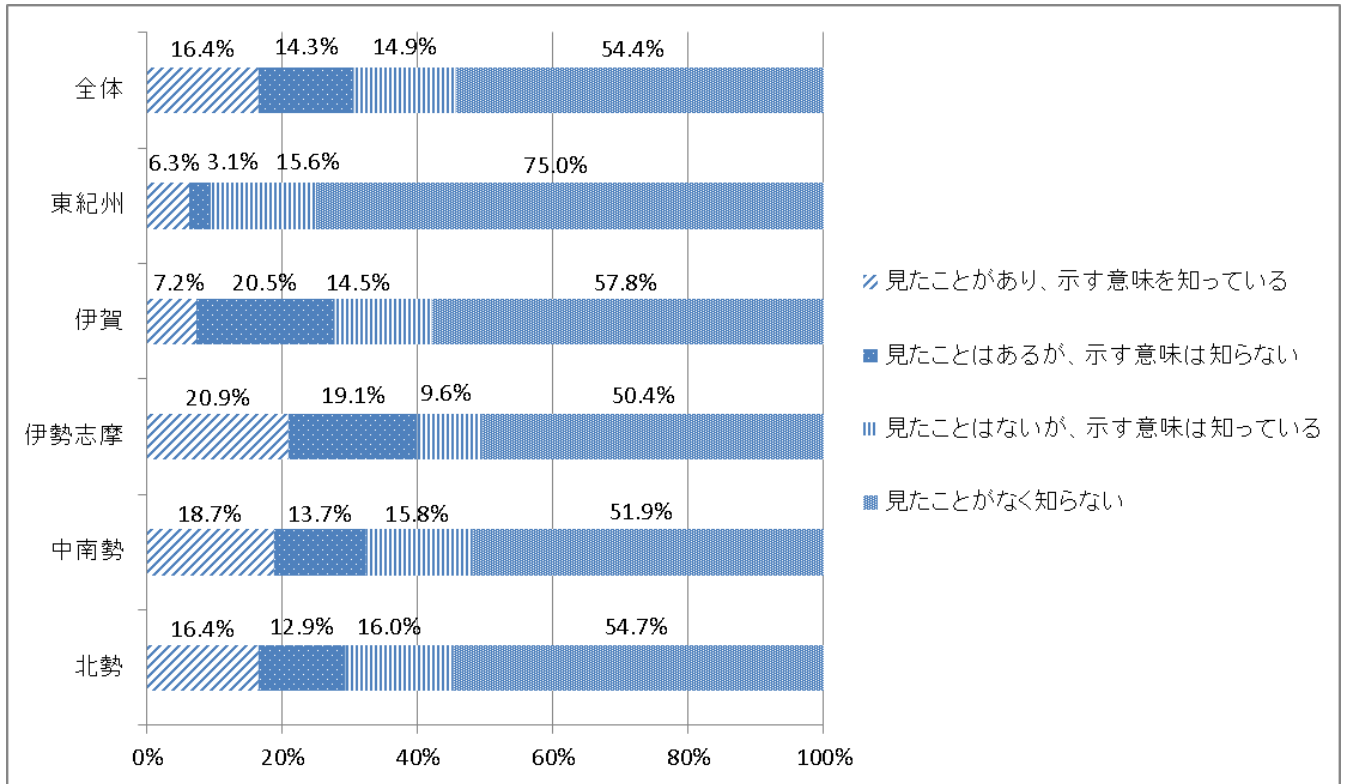


図 「適合証プレート」の認知度について（地域別）

9 「マタニティマーク」の認知度について

Q9 「マタニティマーク」は妊産婦が交通機関等を利用する際に身につけ、周囲の人が妊産婦への配慮を示しやすくするためのものです。また、交通機関、職場、飲食店等が、呼びかけ文を添えてポスターなどとして掲示し、妊産婦にやさしい環境づくりを推進するものです。

[参考：マタニティマークに関する厚生労働省のHPアドレス]

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kodomo/kodomo_kosodate/boshi-hoken/maternity_mark.html

あなたは、「マタニティマーク」を見たことがあり、その意味を知っていましたか。

「マタニティマーク」について、「見たことがあり、示す意味を知っている(56.9%)」「見たことはあるが、示す意味は知らない(7.7%)」を合わせて64.6%の方が見たことがあると回答しています。

また、「見たことがあり、示す意味を知っている(56.9%)」「見たことはないが、示す意味は知っている(20.3%)」を合わせて77.2%の方が示す意味は知っていると回答しています。

見たことがなく、示す意味も知らない方は、15.2%となっています。

年代別に見ると、見たことがある方の割合は、30歳代(86.2%)、20歳代(82.6%)が高くなっています。

意味を知っている方の割合は、30歳代(91.5%)、20歳代(87.3%)、70歳代以上(82.2%)が高くなっています。

地域別に見ると、見たことがある方の割合は、北勢地域(66.0%)、中南勢地域(65.6%)が高くなっています。

意味を知っている方の割合は、東紀州地域(84.4%)、中南勢地域(78.9%)、伊賀地域(78.3%)が高くなっています。

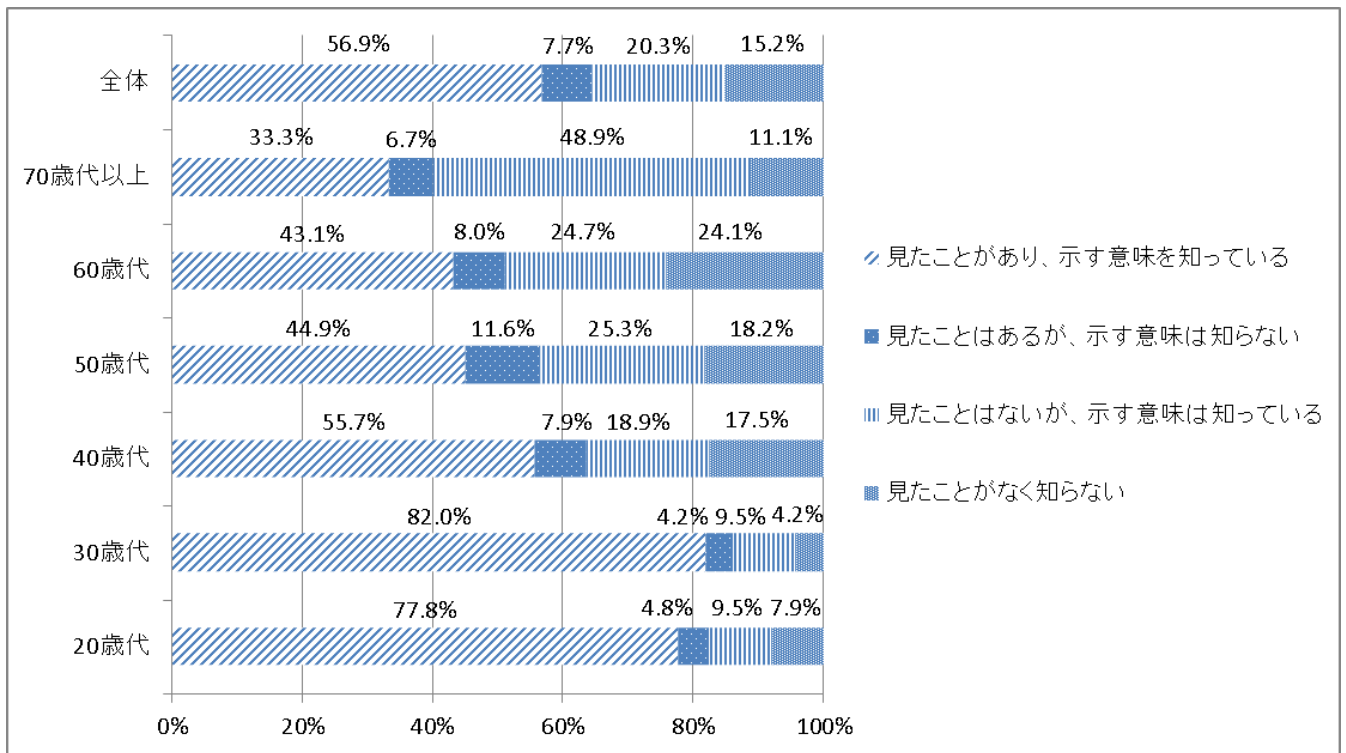


図 「マタニティマーク」の認知度について（年代別）

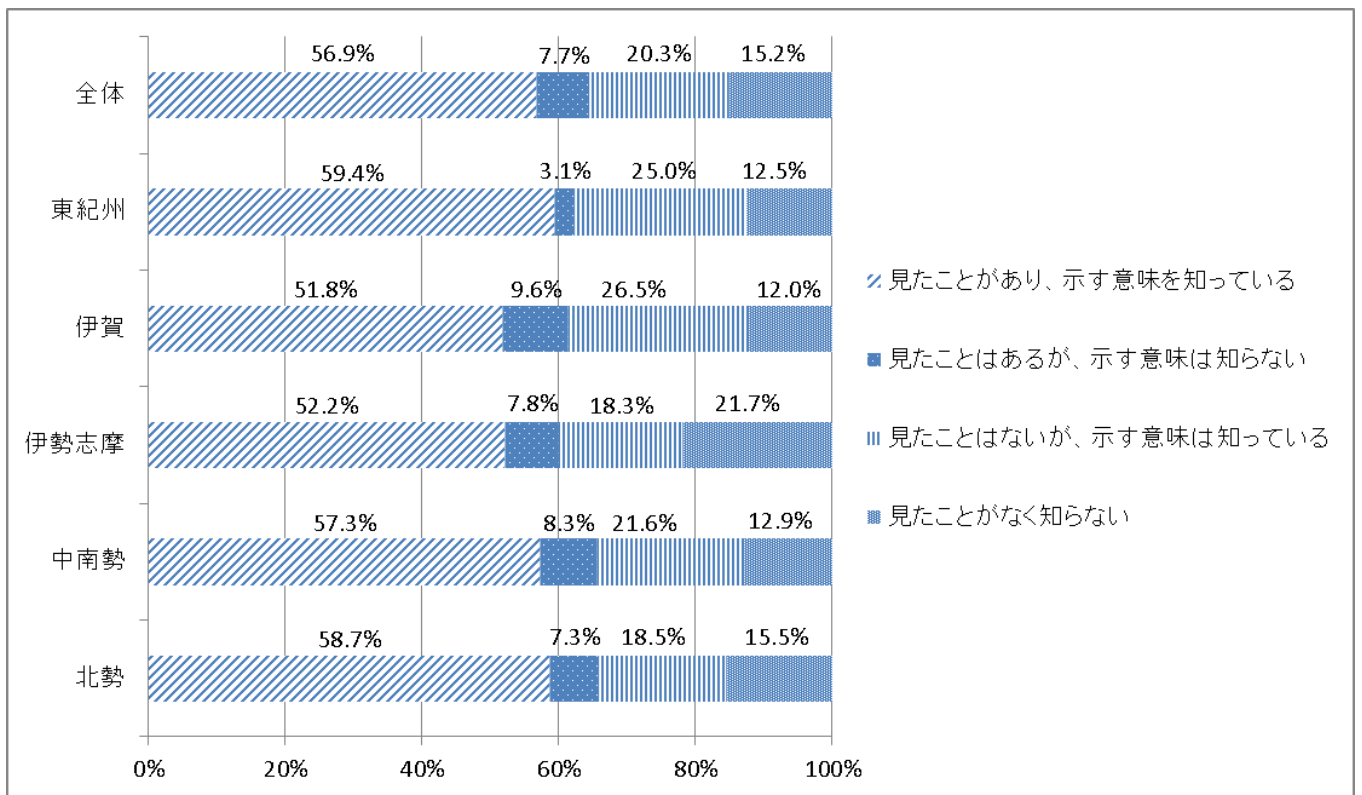


図 「マタニティマーク」の認知度について（地域別）

10 「ベビーカーマーク」の認知度について

Q10 「ベビーカーマーク」は公共交通機関や商業施設などにおいて、ベビーカー使用者が安心して利用できる場所や設備を明示したり、ベビーカーの使用を禁止する場所や設備を明示したりするためのものです。

[参考：ベビーカーマークに関する国土交通省のHPアドレス]

http://www.mlit.go.jp/report/press/sogo09_hh_000083.html

あなたは、「ベビーカーマーク」を見たことがあり、その意味を知っていましたか。

「ベビーカーマーク」について、「見たことがあり、示す意味を知っている(22.3%)」「見たことはあるが、示す意味は知らない(8.0%)」を合わせて30.3%の方が見たことがあると回答しています。

また、「見たことがあり、示す意味を知っている(22.3%)」「見たことはないが、示す意味は知っている(30.0%)」を合わせて52.3%の方が示す意味は知っていると回答しています。

見たことがなく、示す意味も知らない方は、39.7%となっています。

年代別に見ると、見たことがある方の割合は、60歳代(39.6%)、70歳代以上(37.8%)、20歳代(31.7%)が高くなっています。

意味を知っている方の割合は、70歳代以上(66.7%)、60歳代(59.2%)、50歳代(53.5%)が高くなっており、年齢が高くなるほど知っている方が多くなっています。

地域別に見ると、見たことがある方の割合は、伊賀地域(34.9%)、伊勢志摩地域(31.3%)が高くなっています。

意味を知っている方の割合は、中南勢地域(56.5%)、東紀州地域(56.3%)が高くなっています。

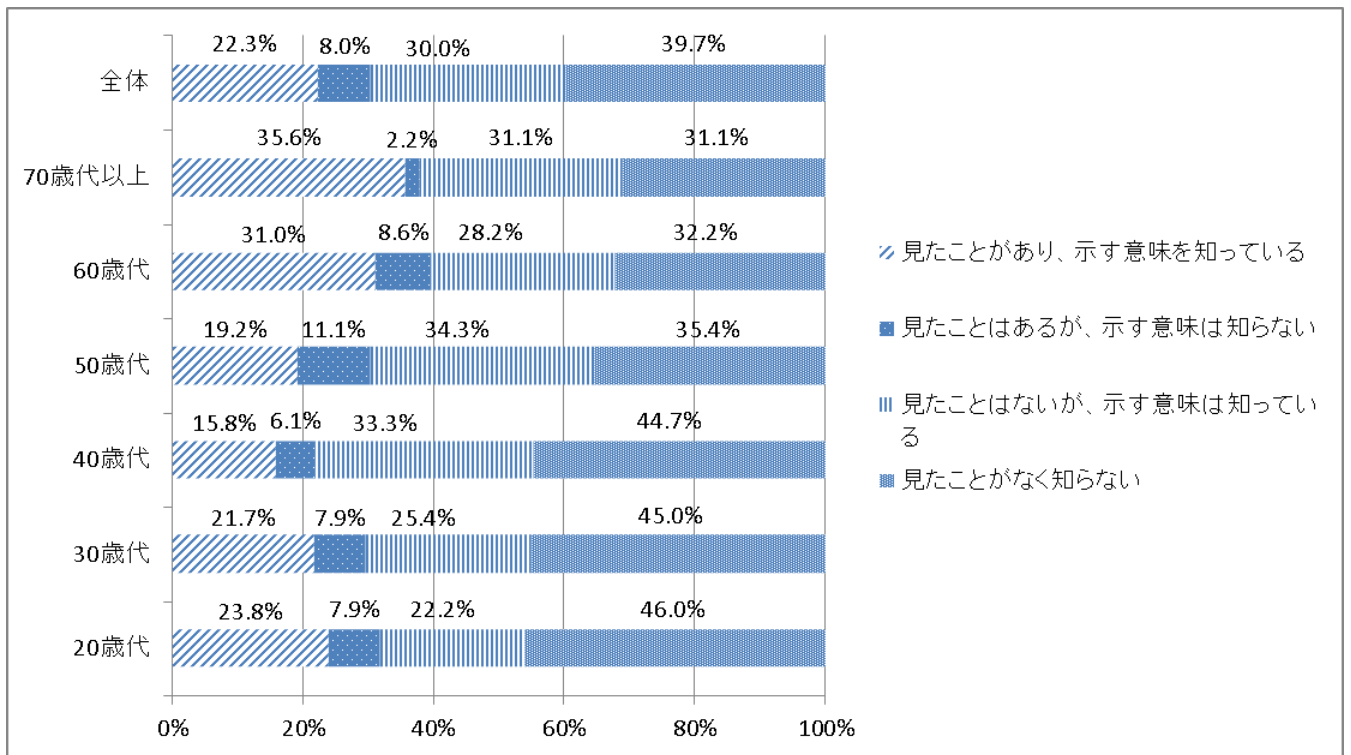


図 「ベビーカーマーク」の認知度について（年代別）

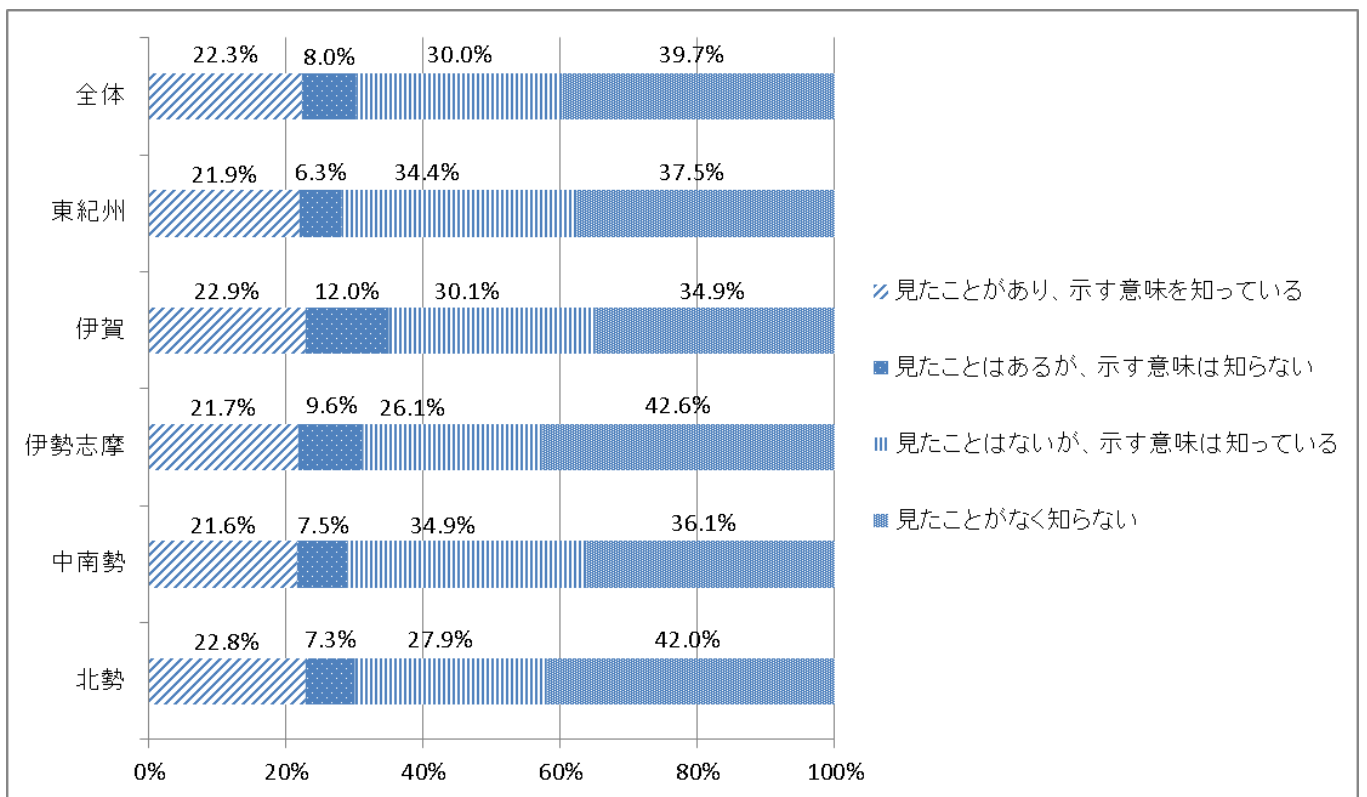


図 「ベビーカーマーク」の認知度について（地域別）